

平成28年度地域経済産業活性化対策調査委託費
(福島復興推進情報発信・調査事業)

福島の復興状況等に関する意識調査 国内調査 報告書

調査方法

・インターネット調査

調査対象者

・福島県居住、福島県以外居住20～69歳一般男女

回収サンプル数

計200ss
【内訳】福島県居住者：100ss 福島県外居住者：100ss

割付

	20代		30代		40代		50代		60代		合計
	男性	女性									
福島県内	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
福島県外	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
合計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	200

調査期間

・2017年1月19日（木）～1月20日（金）

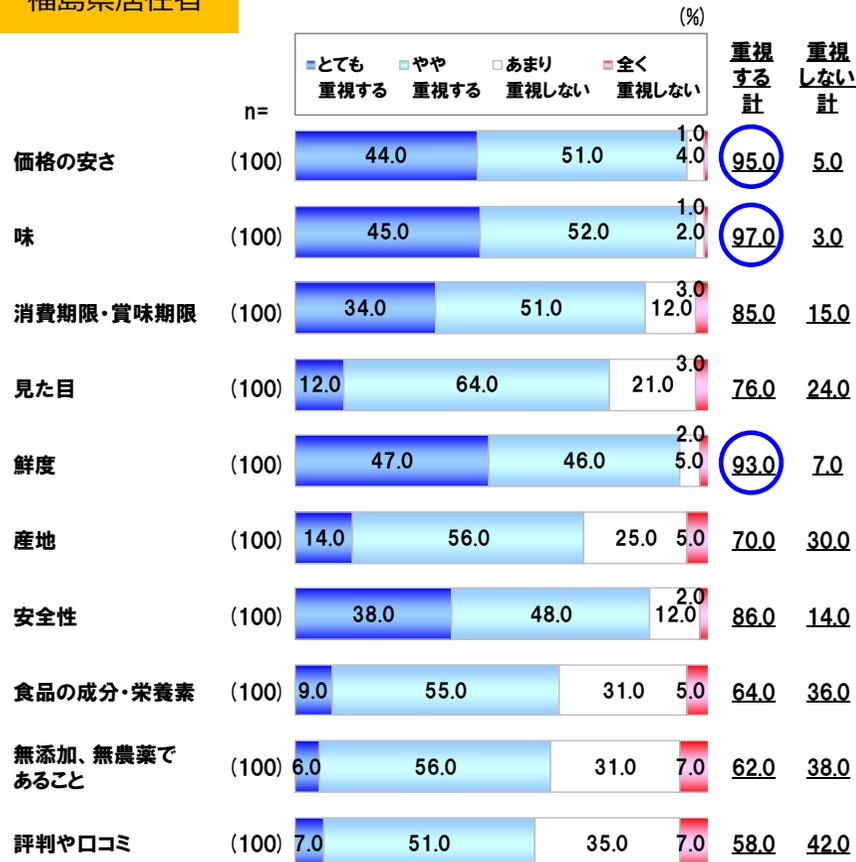
食品・食材に関する意識

食品・食材を購入する際の重視点（居住地別）

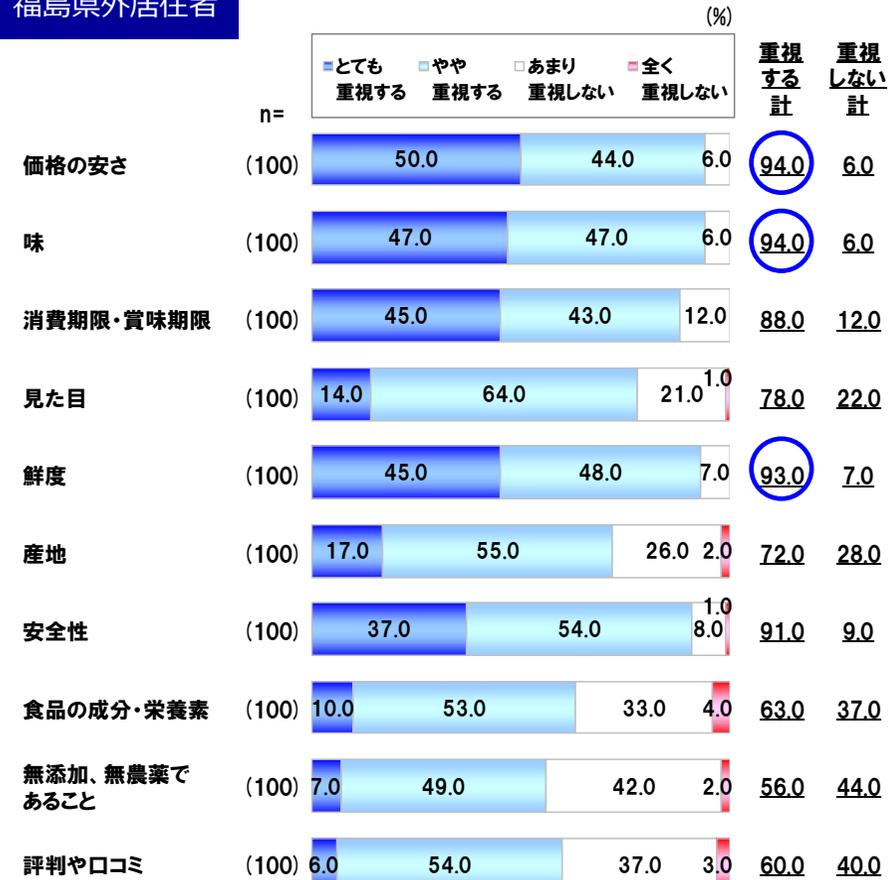
- 現在居住している地域に関わらず、食品・食材を購入する際には、「価格の安さ」「味」「鮮度」を特に重視している。

Q. 以下の内容について、あなたが食品・食材を購入する際にどの程度重視しますか。

福島県居住者



福島県外居住者



食品・食材を購入する際の重視点（居住地別・性・年代比較）

- 居住地に関わらず、男性よりも女性の方が「見た目」「鮮度」「産地」「食品の成分・栄養素」を購入時に重視している。

Q. 以下の内容について、あなたが食品・食材を購入する際にどの程度重視しますか。

■ 全体値より+10%以上
 ■ 全体値より+5%以下
 ■ 全体値より-5%以上
 ■ 全体値より-10%以下

福島県居住者

	n=				
	福島県全体 (100)	男性 (50)	女性 (50)	20-40代 (60)	50-60代 (40)
価格の安さ	95.0	94.0	96.0	96.7	92.5
味	97.0	96.0	98.0	96.7	97.5
消費期限・賞味期限	85.0	82.0	88.0	81.7	90.0
見た目	76.0	70.0	82.0	83.3	65.0
鮮度	93.0	88.0	98.0	90.0	97.5
産地	70.0	62.0	78.0	70.0	70.0
安全性	86.0	84.0	88.0	81.7	92.5
食品の成分・栄養素	64.0	58.0	70.0	61.7	67.5
無添加、無農薬であること	62.0	62.0	62.0	51.7	77.5
評判や口コミ	58.0	44.0	72.0	63.3	50.0

福島県外居住者

	n=				
	全国 (福島県以外) (100)	男性 (50)	女性 (50)	20-40代 (60)	50-60代 (40)
価格の安さ	94.0	94.0	94.0	93.3	95.0
味	94.0	90.0	98.0	91.7	97.5
消費期限・賞味期限	88.0	90.0	86.0	81.7	97.5
見た目	78.0	72.0	84.0	75.0	82.5
鮮度	93.0	88.0	98.0	90.0	97.5
産地	72.0	62.0	82.0	66.7	80.0
安全性	91.0	86.0	96.0	90.0	92.5
食品の成分・栄養素	63.0	58.0	68.0	61.7	65.0
無添加、無農薬であること	56.0	54.0	58.0	53.3	60.0
評判や口コミ	60.0	60.0	60.0	56.7	65.0

食品・食材を購入する際の重視点の優先順位（居住地別・性・年代比較）

- 食品・食材の購入時重視点の優先順位をみると、居住地に関わらず「価格の安さ」を1位に挙げる人が最も多く、女性よりも男性、年代では50-60代よりも20-40代の方が重視度が高い。
- 「安全性」については、いずれの地域も重視点の1位に挙げている割合が2番目に高くなっているが、福島県居住者では女性、福島県外居住者では男性の方が重視している。年代で見ると、いずれの地域も高年層の方が重視度が高い。

Q. では、先ほどの質問であなたが「とても重視する/やや重視する」とお答えになった意識について、その優先する順位をお知らせください。

福島県居住者

	n=				
	福島県全体 (99)	男性 (49)	女性 (50)	20-40代 (60)	50-60代 (39)
価格の安さ	26.3	30.6	22.0	33.3	15.4
味	19.2	20.4	18.0	18.3	20.5
消費期限・賞味期限	8.1	8.2	8.0	8.3	7.7
見た目	3.0	4.1	2.0	3.3	2.6
鮮度	15.2	14.3	16.0	15.0	15.4
産地	2.0	2.0	2.0	1.7	2.6
安全性	20.2	12.2	28.0	13.3	30.8
食品の成分・栄養素	-	-	-	-	-
無添加、無農薬であること	5.1	6.1	4.0	5.0	5.1
評判や口コミ	1.0	2.0	-	1.7	-

福島県外居住者

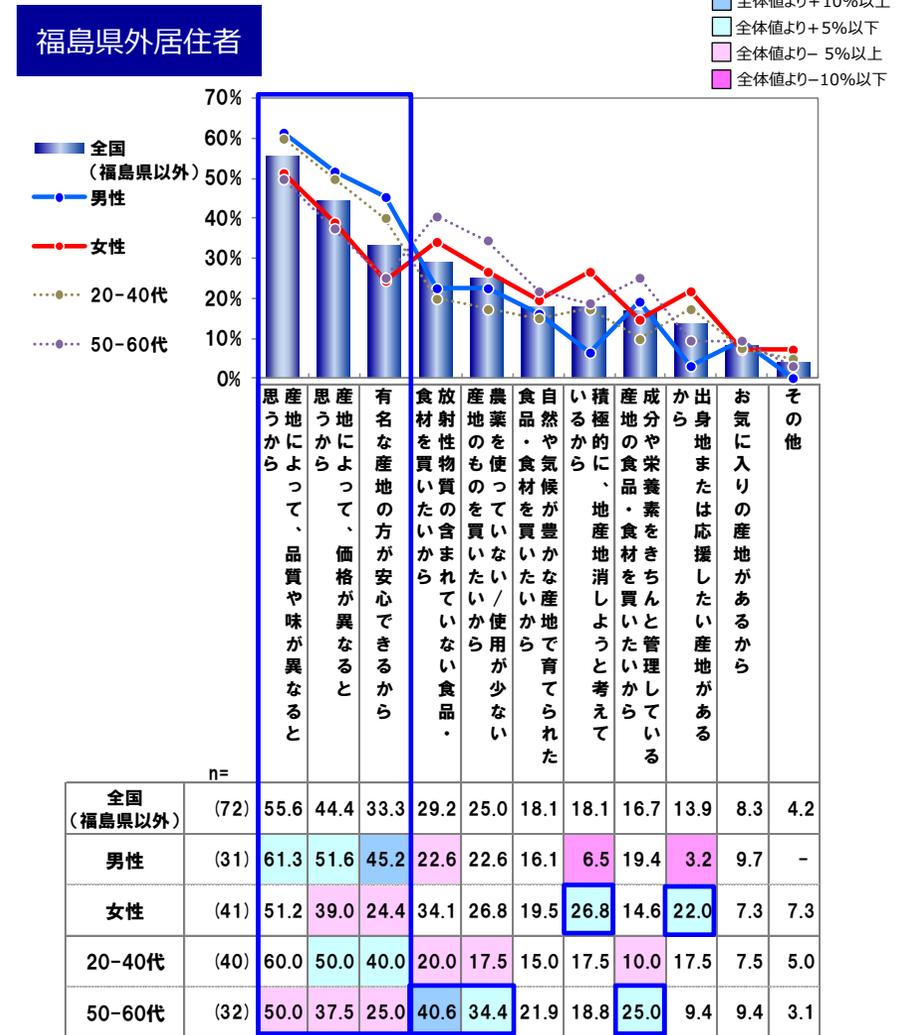
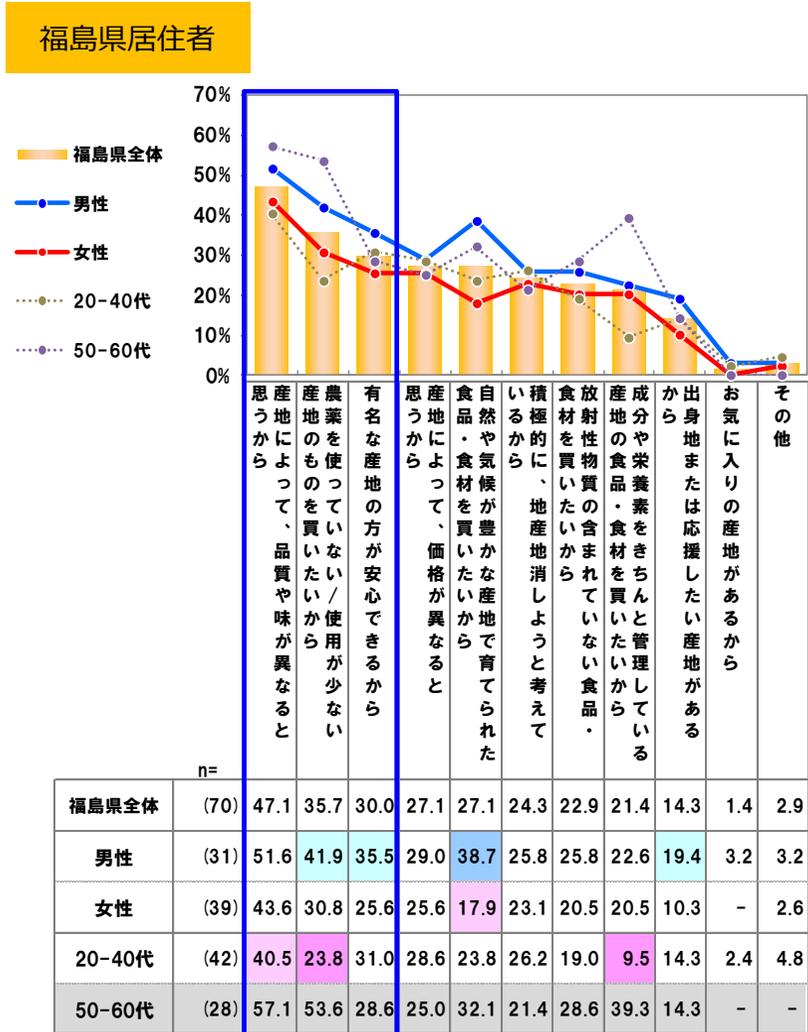
	n=				
	全国 (福島県以外) (99)	男性 (50)	女性 (49)	20-40代 (59)	50-60代 (40)
価格の安さ	33.3	40.0	26.5	40.7	22.5
味	15.2	18.0	12.2	15.3	15.0
消費期限・賞味期限	7.1	2.0	12.2	3.4	12.5
見た目	-	-	-	-	-
鮮度	17.2	6.0	28.6	15.3	20.0
産地	3.0	-	6.1	5.1	-
安全性	20.2	28.0	12.2	15.3	27.5
食品の成分・栄養素	1.0	2.0	-	1.7	-
無添加、無農薬であること	1.0	2.0	-	-	2.5
評判や口コミ	2.0	2.0	2.0	3.4	-

■ 全体値より+10%以上
 ■ 全体値より+5%以下
 ■ 全体値より-5%以上
 ■ 全体値より-10%以下

食品・食材を購入する際「産地を重視する」理由（居住地別・性・年代比較）

- 『産地を重視する』理由としては、福島県居住者は「品質や味が異なる」「農薬を使っていない/少ない」「有名な産地の方が安心できる」の順に多く、一方で福島県外居住者は「品質や味が異なる」「価格が異なる」「有名な産地の方が安心できる」の順に多く挙がる。いずれの地域も、女性よりも男性の方が高い傾向。
- 福島県外居住者では、高年層で「放射性物質の含まれていない食品・食材を購入したい」「農薬を使っていない/少ない産地のもを買いたい」「きちんと管理されているものを買いたい」との意識が高い。福島県外居住の女性では「産地消しようと考えている」「出身地または応援したい産地がある」の意識が高い。

Q. あなたは、食品・食材を購入する際、「産地を重視する」とお答えですが、その理由として、以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。

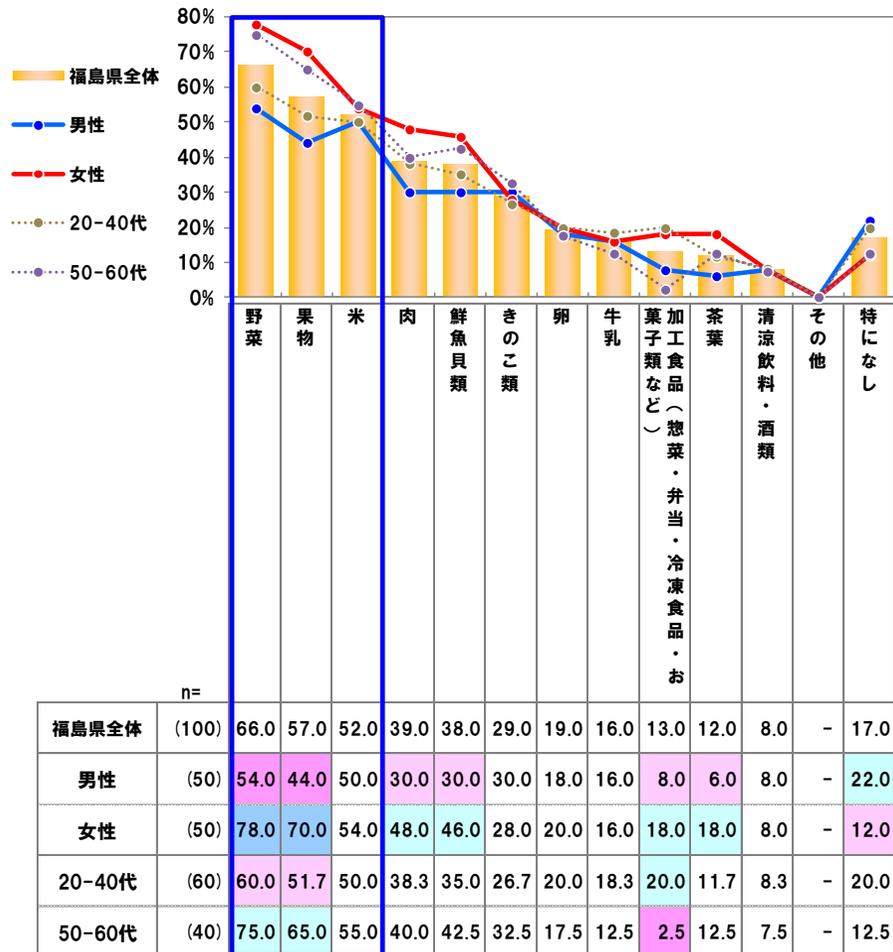


産地を気にする食品・食材（居住地別・性・年代比較）

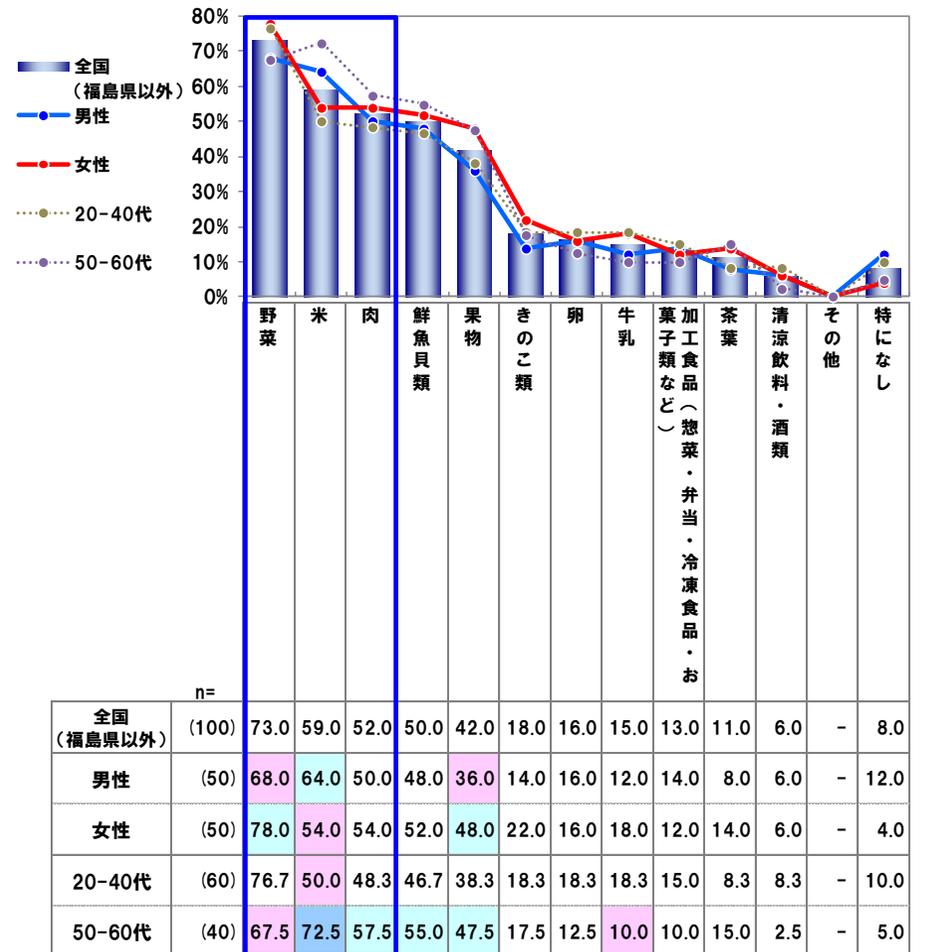
- 産地を気にする食品・食材としては、福島県居住者は「野菜」「果物」「米」の順に多く挙がり、一方で福島県外居住者は「野菜」「米」「肉」の順に多く挙がる。
- 福島県外居住者では、「米」に関しては女性よりも男性の方が産地を気にしており、年代で見ると、「野菜」「牛乳」を除いて高年層の方が産地を気にしている食品・食材が多くなっている。

Q. あなたが、産地を気にする食品・食材として、あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県居住者



福島県外居住者



■ 全体値より+10%以上
■ 全体値より+5%以下
■ 全体値より-5%以上
■ 全体値より-10%以下

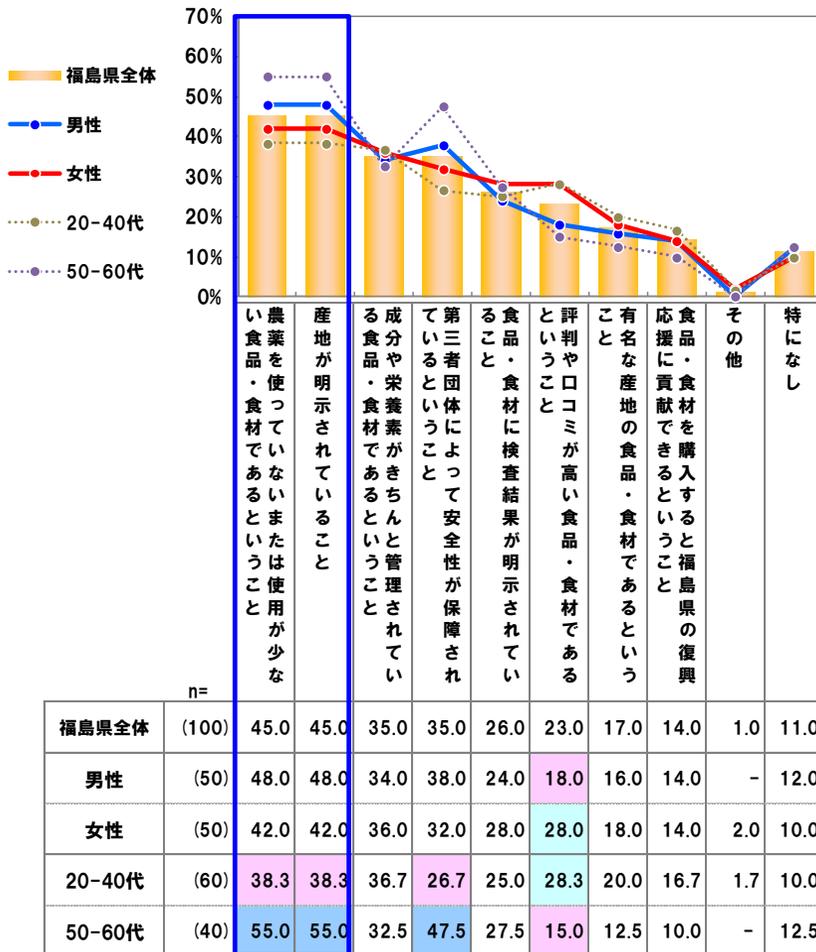
積極的に購入するために必要な情報（居住地別・性・年代比較）

- 食品・食材の購入時に積極的に購入するために必要な情報として、福島県居住者では「農薬を使っていない/少ない」「産地が明示されている」が特に挙がり、一方で福島県外居住者では「産地が明示されている」ことが特に挙がり、その傾向は福島県内居住者よりも高い。
- 福島県外居住者でみると、女性よりも男性の方が「評判や口コミの高さ」「有名な食品・食材であること」を気にしていることが窺え、年代でみると高年層の方が食品・食材の購入時に判断材料となる情報を欲していることが窺える。

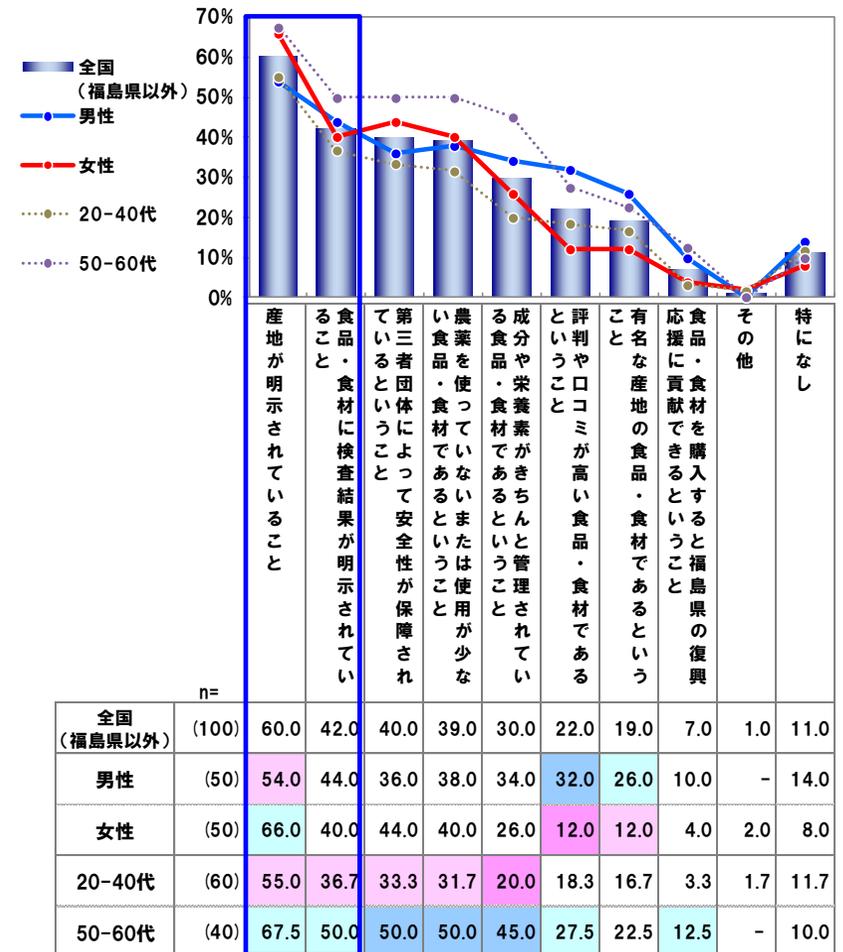
Q. あなたが、食品・食材の購入時に、どのような情報があればより積極的に購入しようと思いますか。

■ 全体値より+10%以上
 ■ 全体値より+5%以下
 ■ 全体値より-5%以上
 ■ 全体値より-10%以下

福島県居住者



福島県外居住者

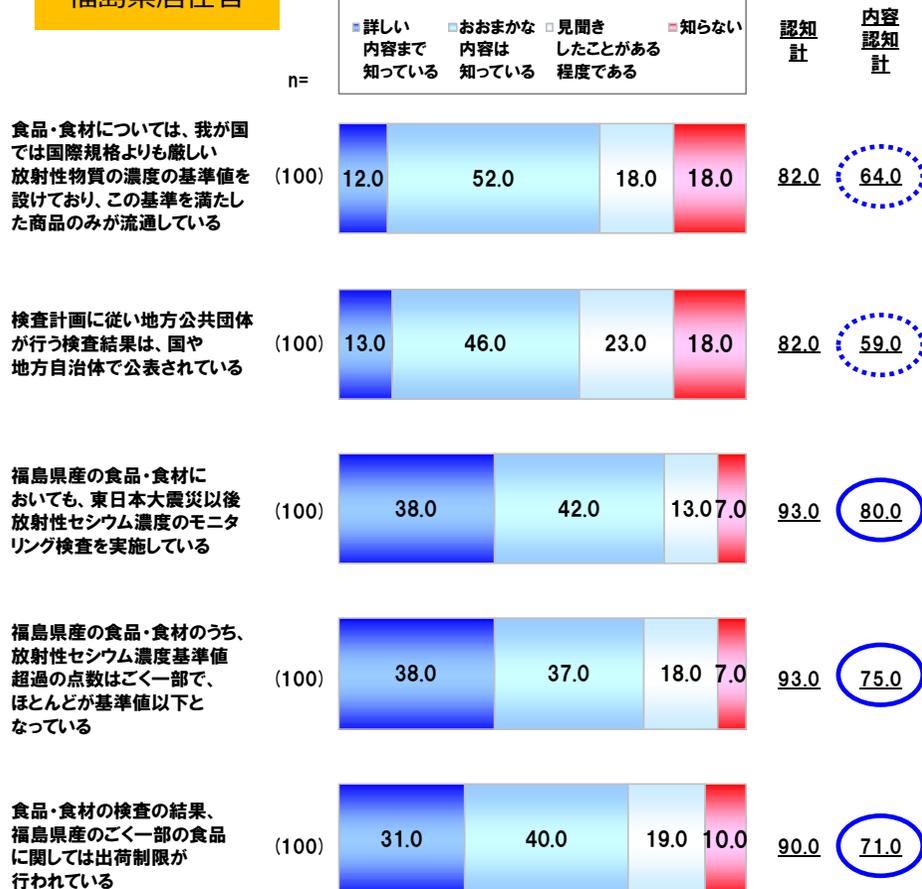


食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知（居住地別）

- 食品・食材の安全確保に向けた取組状況については、いずれの内容についても福島県外居住者よりも福島県居住者の方が内容認知が高い。
- 福島県居住者では、「セシウム濃度のモニタリング検査」や「出荷制限」の認知度に対して、「日本が国際規格より厳しい基準値を設けており、この基準を満たした商品のみが流通していること」や「検査結果が公表されている」ことの認知度は低い。

Q. 現在、我が国では、食品・食材の安全確保に向けた様々な取組が行われています。あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況についてどの程度ご存じですか。

福島県居住者



福島県外居住者

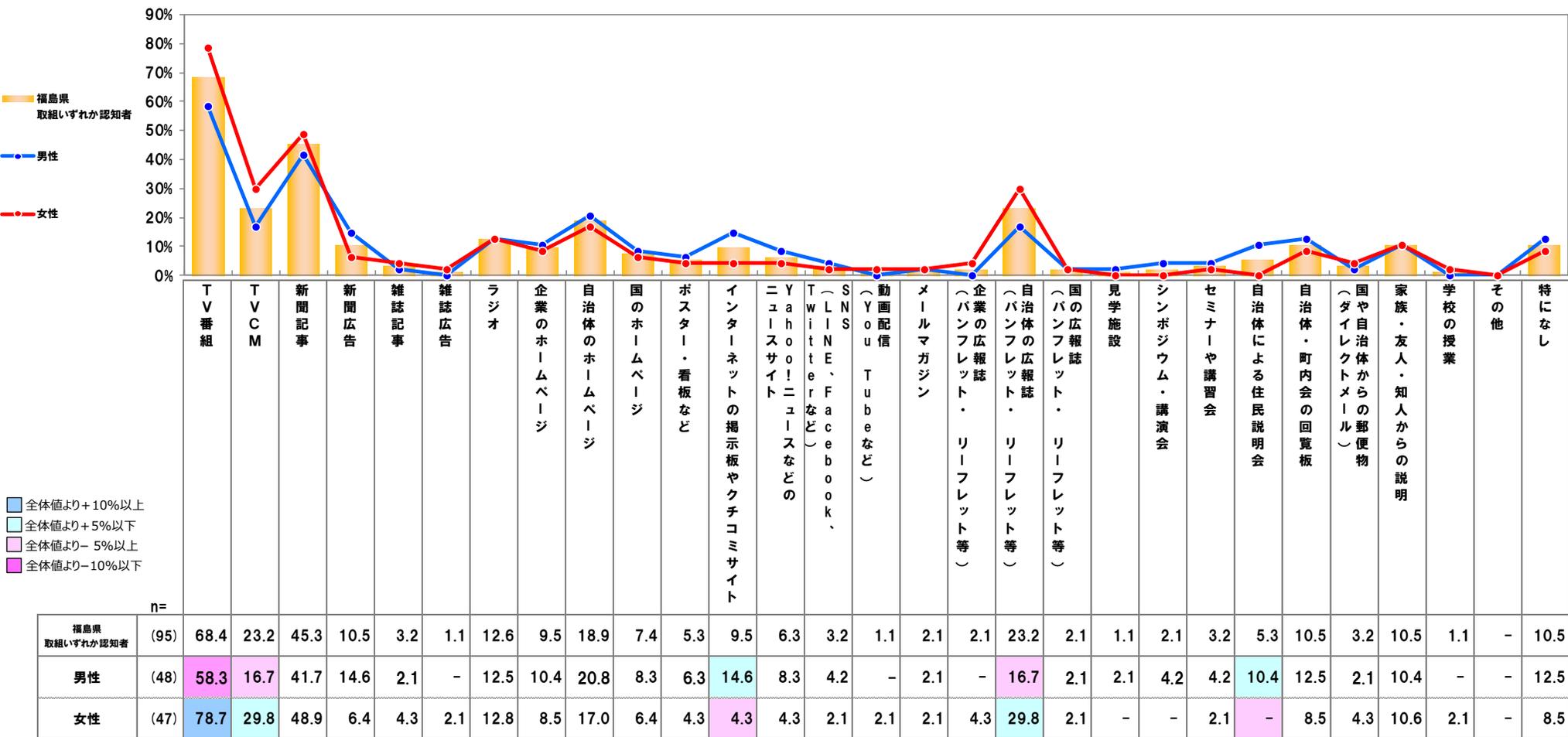


食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路 (居住地別・男女比較)

- 食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路については、「TV番組」が最も高く、次いで「新聞記事」「TVCM」「自治体の広報誌」の順に高くなっている。
- 男性よりも女性の方が、「TV番組/TVCM」「自治体の広報誌」からの認知が高く、一方で男性の方が「ネット上の掲示板やクチコミサイト」「住民説明会」からの認知が高くなっている。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県居住者

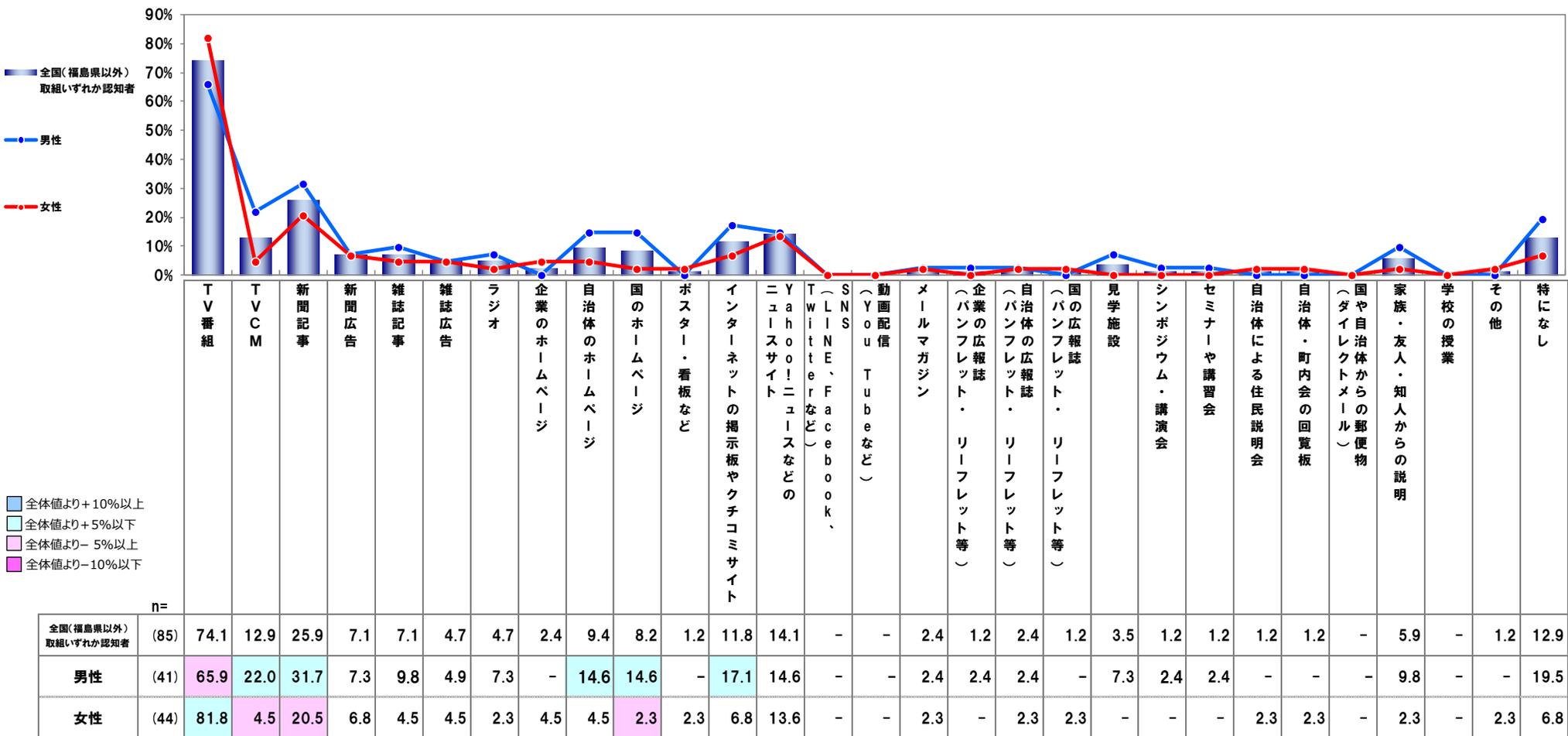


食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路 (居住地別・男女比較)

- 食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路については、「TV番組」が最も高く、次いで「新聞記事」「ニュースサイト」の順に高くなっている。
- 男性よりも女性の方が、「TV番組」からの認知が高く、一方で男性の方が「TVCM」「新聞記事」「自治体/国のHP」「ネット上の掲示板やクチコミサイト」からの認知が高くなっている。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがおありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県外居住者



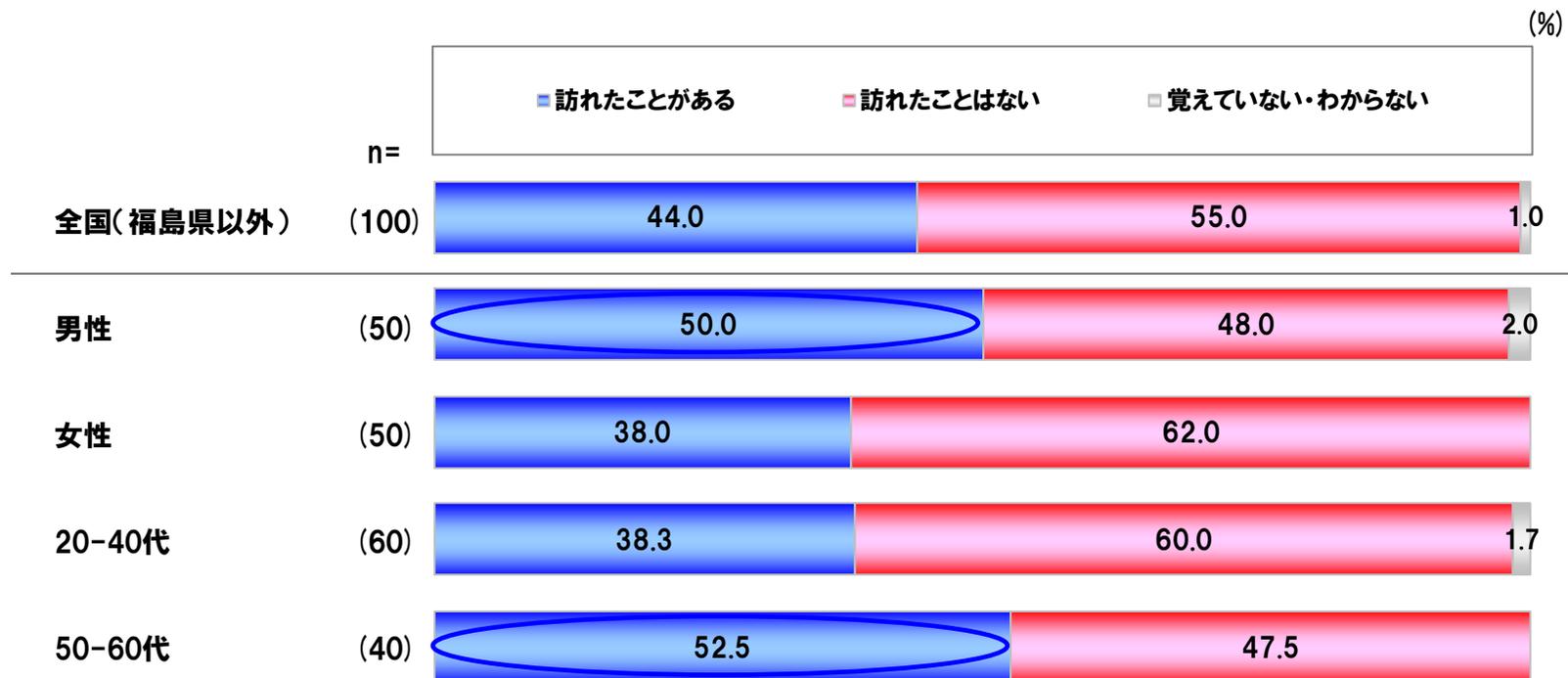
福島県の復興に関する関与状況・意識

福島県訪問経験（性・年代比較）

- これまでに福島県を訪れたことがある人は約4割。
- 訪問経験者は、女性よりも男性の方が、20-40代よりも50-60代の方がやや多くなっている。

Q. あなたは、これまでに福島県を訪れたことがありますか。

福島県外居住者



福島県訪問意向（性・年代比較）

- 今後福島県を訪れたいと思ってる人は約4割。
- 訪問意向者は、男性よりも女性の方がやや多くなっている。
- 年代別でみると、20-40代の訪問意向者は約半数、50-60代の訪問意向者は約4割。

Q. あなたは、今後福島県を訪れたいと思いますか。

福島県外居住者

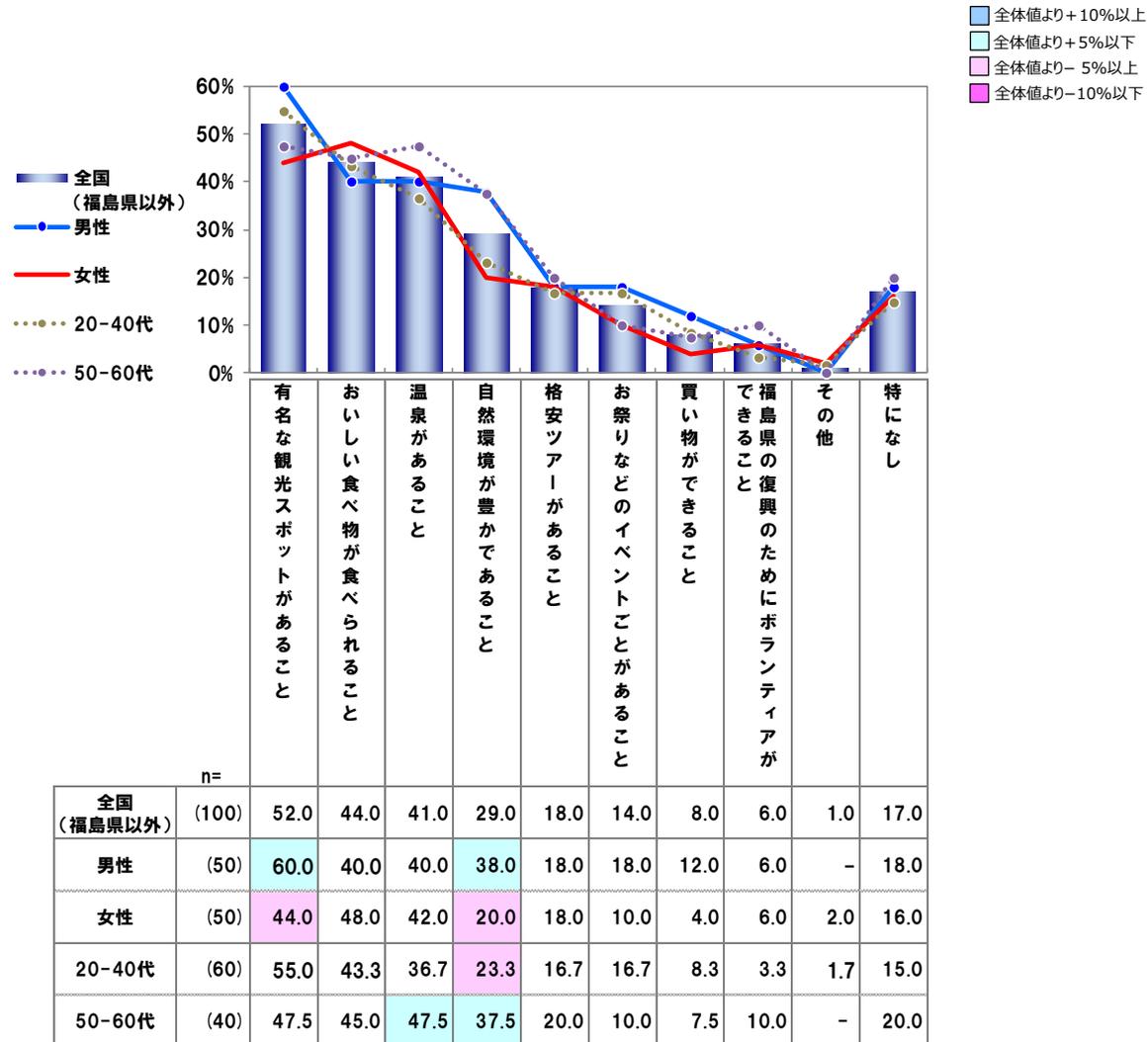


福島県に訪問したら体験したいこと（性・年代比較）

- 福島県外居住者が、福島県を訪れたいと思う内容としては、「有名な観光スポットがあること」が最も高く、次いで「おいしい食べ物が食べられること」「温泉があること」が続く。
- 男性の方が「有名な観光スポットがあること」「自然環境が豊かであること」を意識し、比較的女性の方が「おいしい食べ物が食べられること」を意識。
- 高年層は「温泉がある」「自然環境が豊かである」ということに対して、福島県への訪問意向が高くなる人が多い。

Q. あなたは、どのようなことがあったり、体験できたりしたら福島県を訪れたいと思いますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

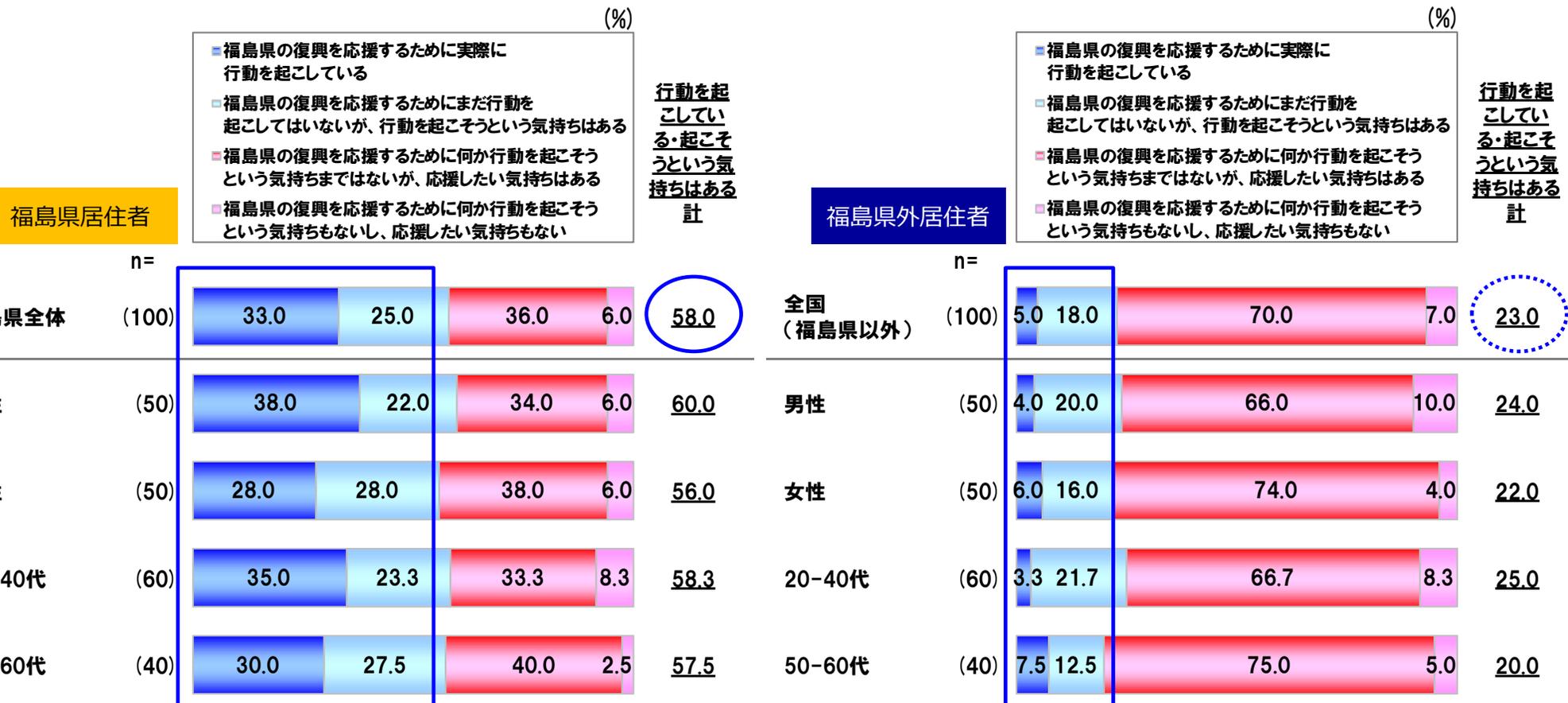
福島県外居住者



福島県の復興に対する意識（居住地別・性・年代比較）

- 福島県の復興に対しては、福島県外居住者よりも福島県居住者の方が、復興を応援するために何か行動を起こしている・起こそうという気持ちがある人が多く、復興に対する意識が強い。（実際に行動を起こしている人も約3割みられる。）
- 福島県の復興に対しては、福島県居住者及び福島県外居住者ともに「何か行動を起こしている」「起こそうという気持ちがある」「応援したい気持ちがある」が9割を超え、県内外とも復興に対する意識は強い。
- とりわけ、「実際に行動を起こしている」「行動を起こそうとする気持ちはある」割合は、福島県居住者は約6割、福島県外居住者は約2割となっている。

Q. あなたは、福島県の復興に対して応援したいというお気持ちをどの程度お持ちですか。

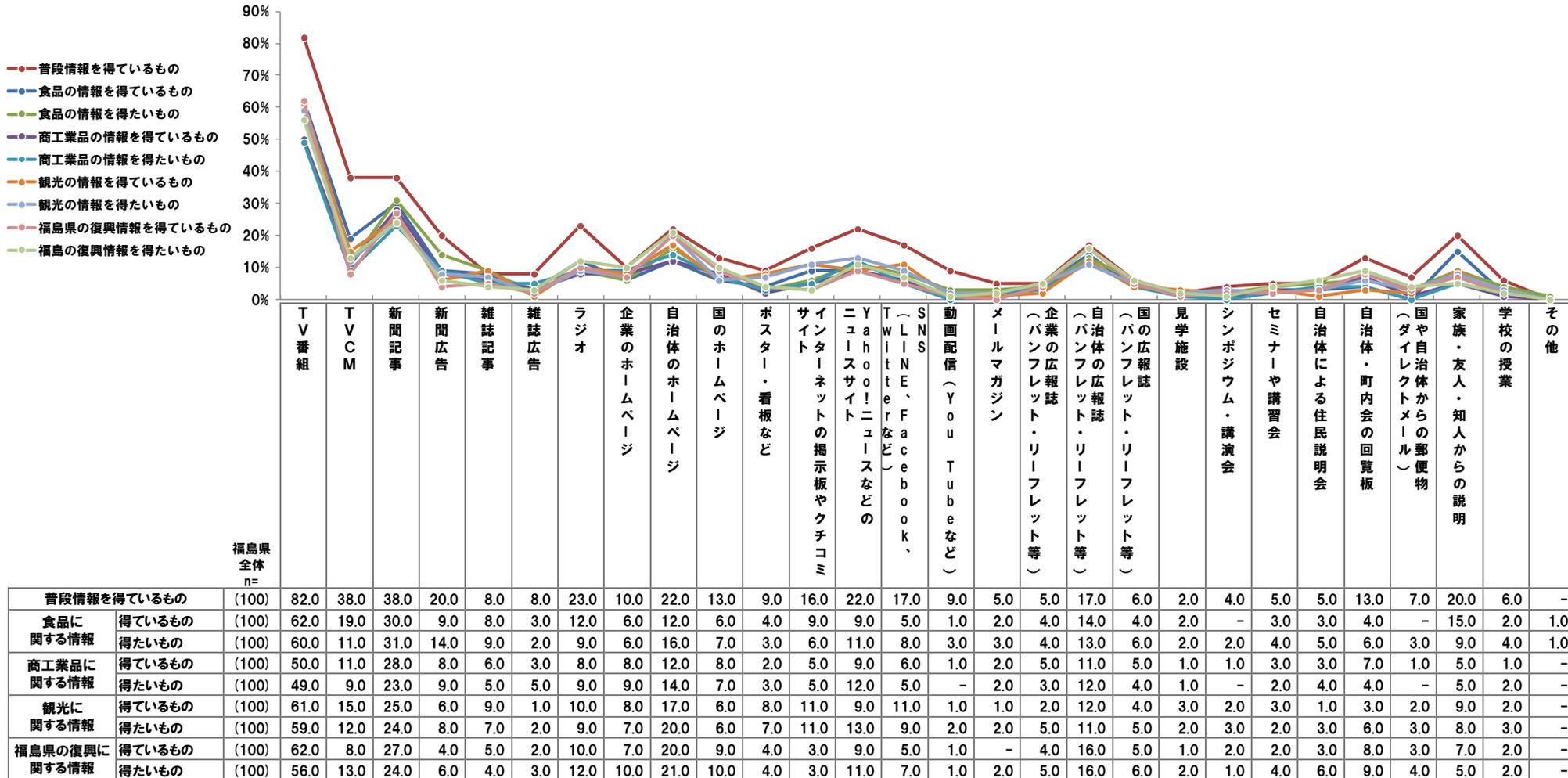


情報源（普段の情報/食品情報/商工業品/福島の復興情報）

- 普段情報を得るものとしては、「TV番組」が特に高く、次いで「TVCM」「新聞記事」が続く。
- 食品、商工業品、福島の復興情報については、「TV番組」「新聞記事」からの情報接触・取得意向が高い。
- 福島復興情報に関しては、「自治体のホームページ」や「自治体の広報誌」からの情報取得意向も高くなっている。

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。

福島県居住者

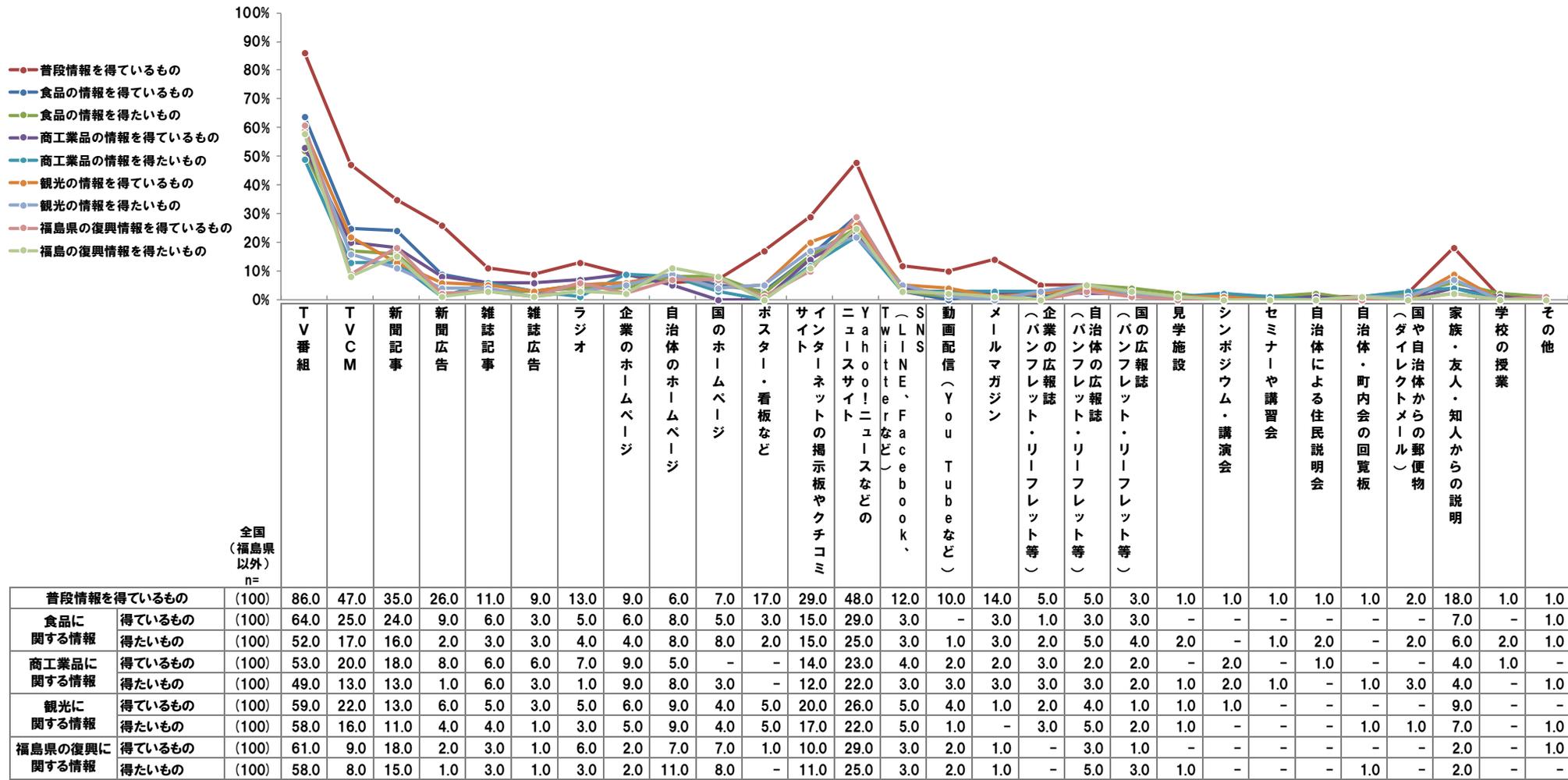


情報源（普段の情報/食品情報/商工業品/福島の復興情報）

- 普段情報を得るものとしては、「TV番組」が特に高く、次いで「Yahoo!ニュースなどのニュースサイト」「TVCM」が続く。
- 食品、商工業品、福島復興情報については、「TV番組」「Yahoo!ニュースなどのニュースサイト」からの情報接触・取得意向が高い。

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。

福島県外居住者



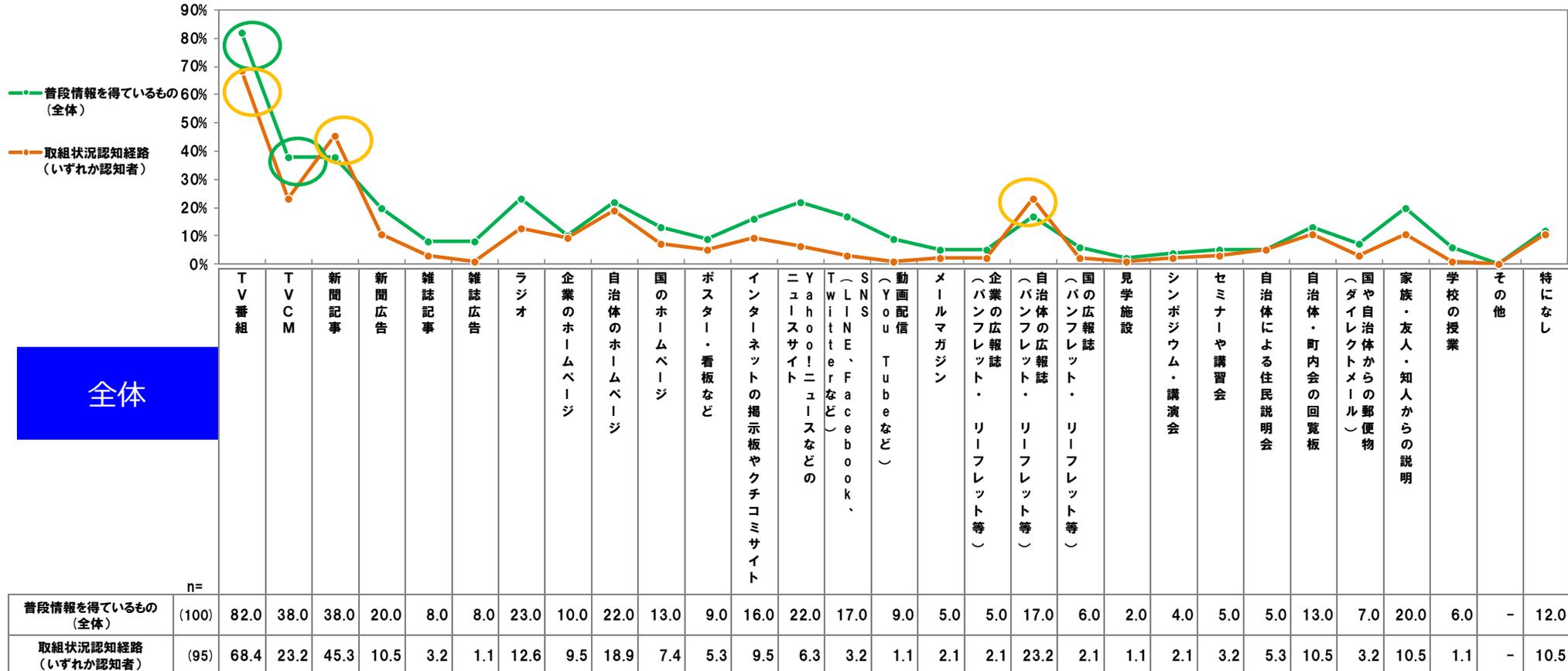
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（全体）

- 普段に情報については、テレビ（「テレビ番組」「TVCM」）からの取得が最も多くなっており、次いで新聞記事が続く。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況をみると、「テレビ番組」からの認知が最も高く、次いで「新聞記事」が続く。認知経路として、「自治体の広報誌」からの認知が高いことも特徴的となっている。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがおありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県居住者

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



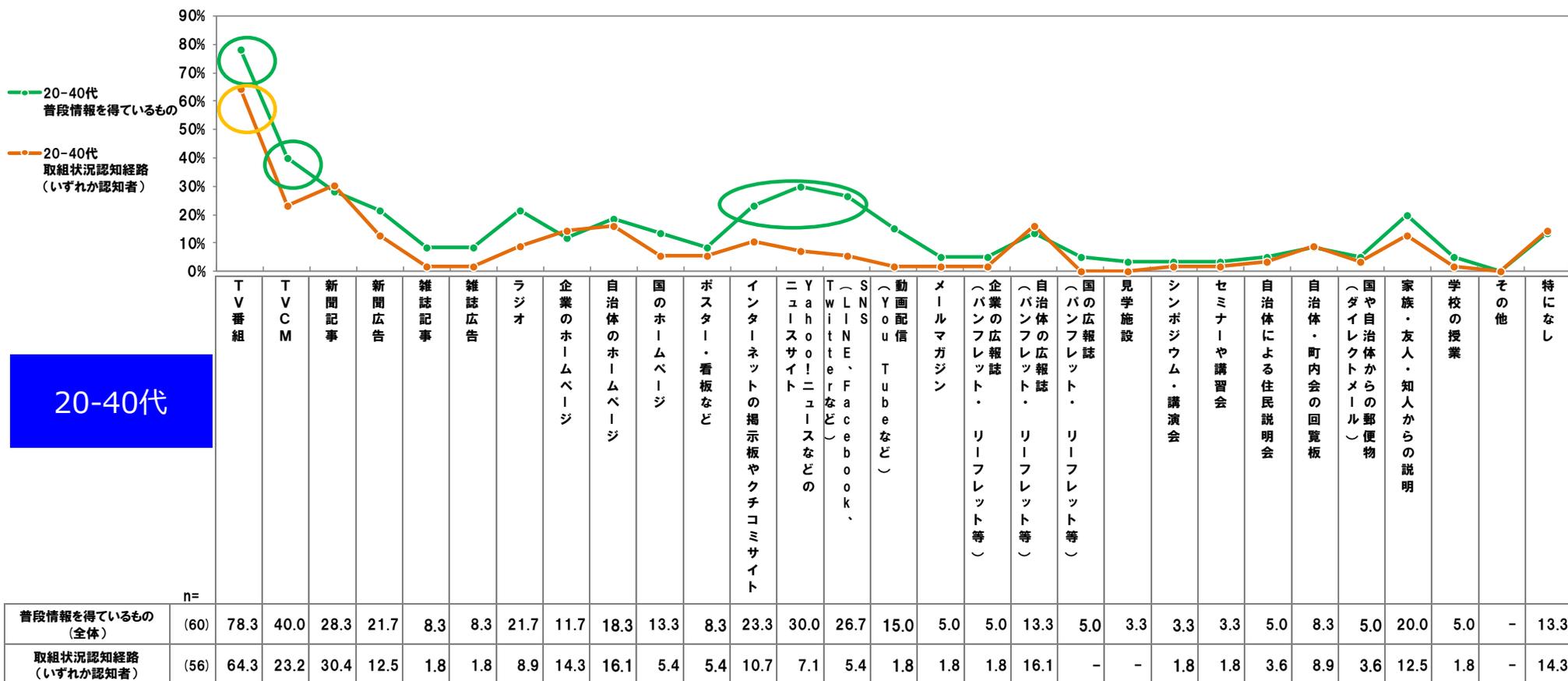
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（20-40代）

- 20-40代に関しても、普段に情報については、テレビ（「テレビ番組」「TVCM」）からの取得が最も多く、次いでインターネット、SNSからの取得も多い。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況をみると、「テレビ番組」からの認知が最も高い。
- 普段の情報取得手段としてのインターネット、SNS利用状況に対して、取組の認知経路としては低い状況となっている。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県居住者

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



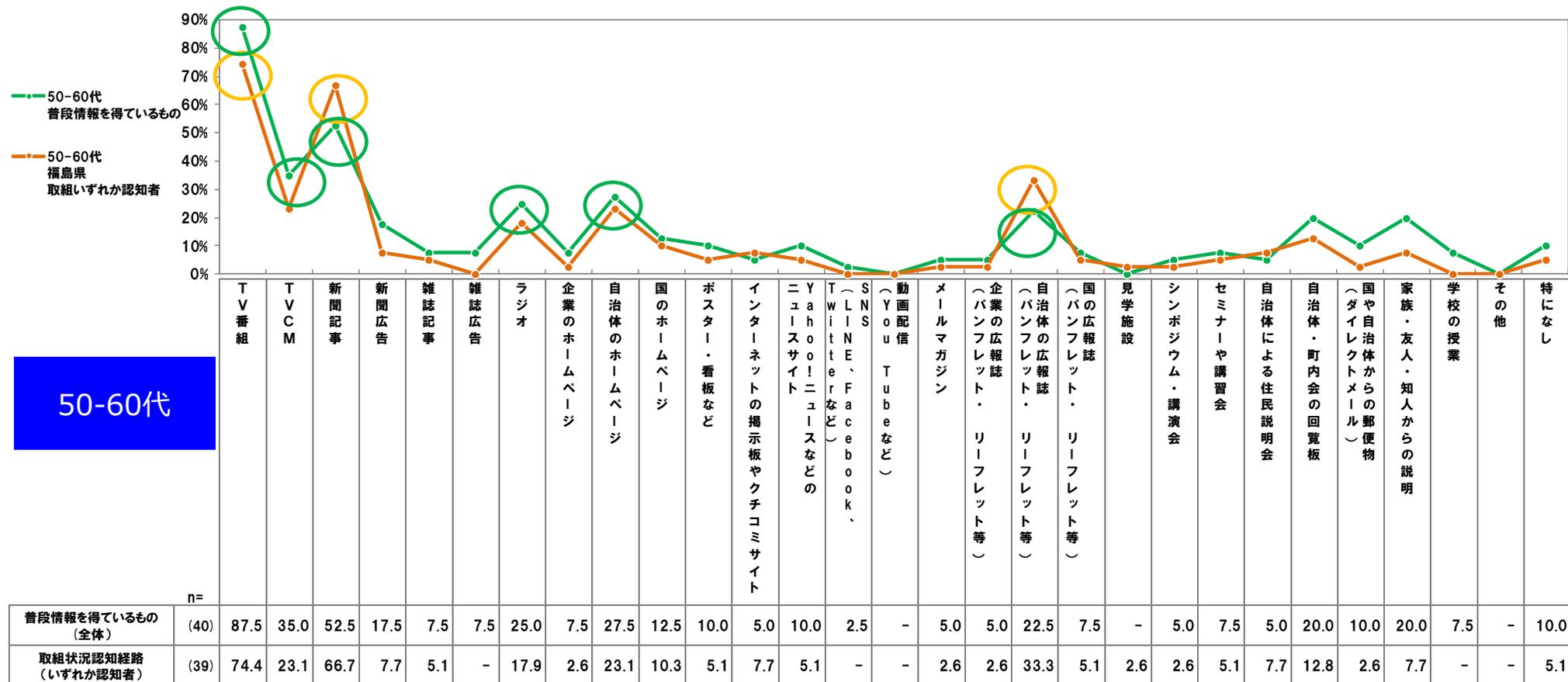
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（50-60代）

- 50-60代に関しても、普段に情報については、テレビからの取得が比較的最も多く、次いで新聞記事が続く。自治体のHP、広報誌、ラジオからの取得も多くなっている。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況をみると、「テレビ番組」「新聞記事」からの認知が特に高い。自治体の広報誌からの認知も比較的高い。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

福島県居住者

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



50-60代

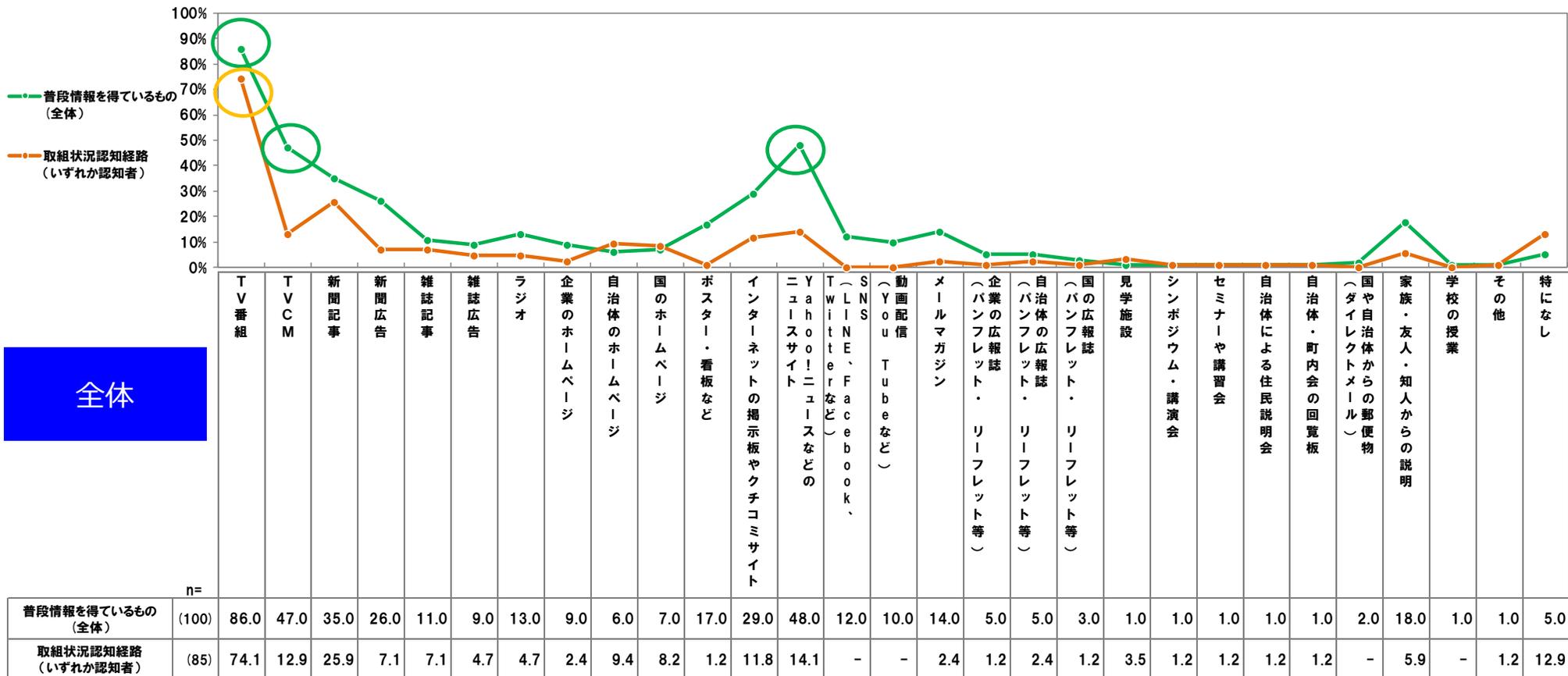
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（全体）

- 普段に情報については、テレビからの取得が比較的最も多く、次いでYahoo!ニュースなどのニュースサイトが続く。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況をみると、「テレビ番組」からの認知が最も高い。
- 普段の情報取得手段としてのTVCM、Yahoo!ニュースなどのニュースサイト利用状況に対して、取組の認知経路としては低い状況となっている。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがおありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

福島県外居住者

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



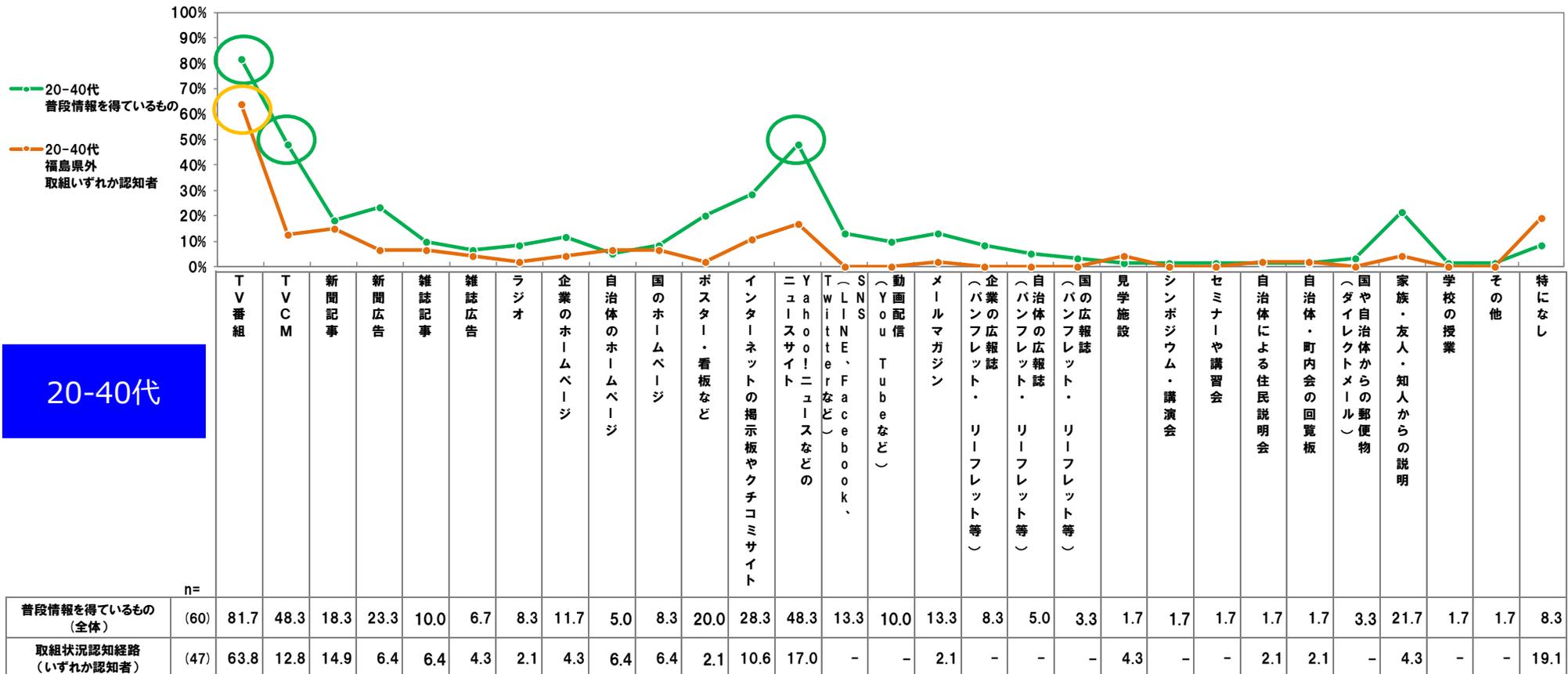
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（20-40代）

- 20-40代に関しても、普段に情報については、テレビ（「テレビ番組」「TVCM」）からの取得が比較的最も多く、次いでYahoo!ニュースなどのニュースサイトが続く。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況を見ると、「テレビ番組」からの認知が最も高い。
- 普段の情報取得手段としてのTVCM、Yahoo!ニュースなどのニュースサイト利用状況に対して、取組の認知経路としては低い状況となっている。

福島県外居住者

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがおありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



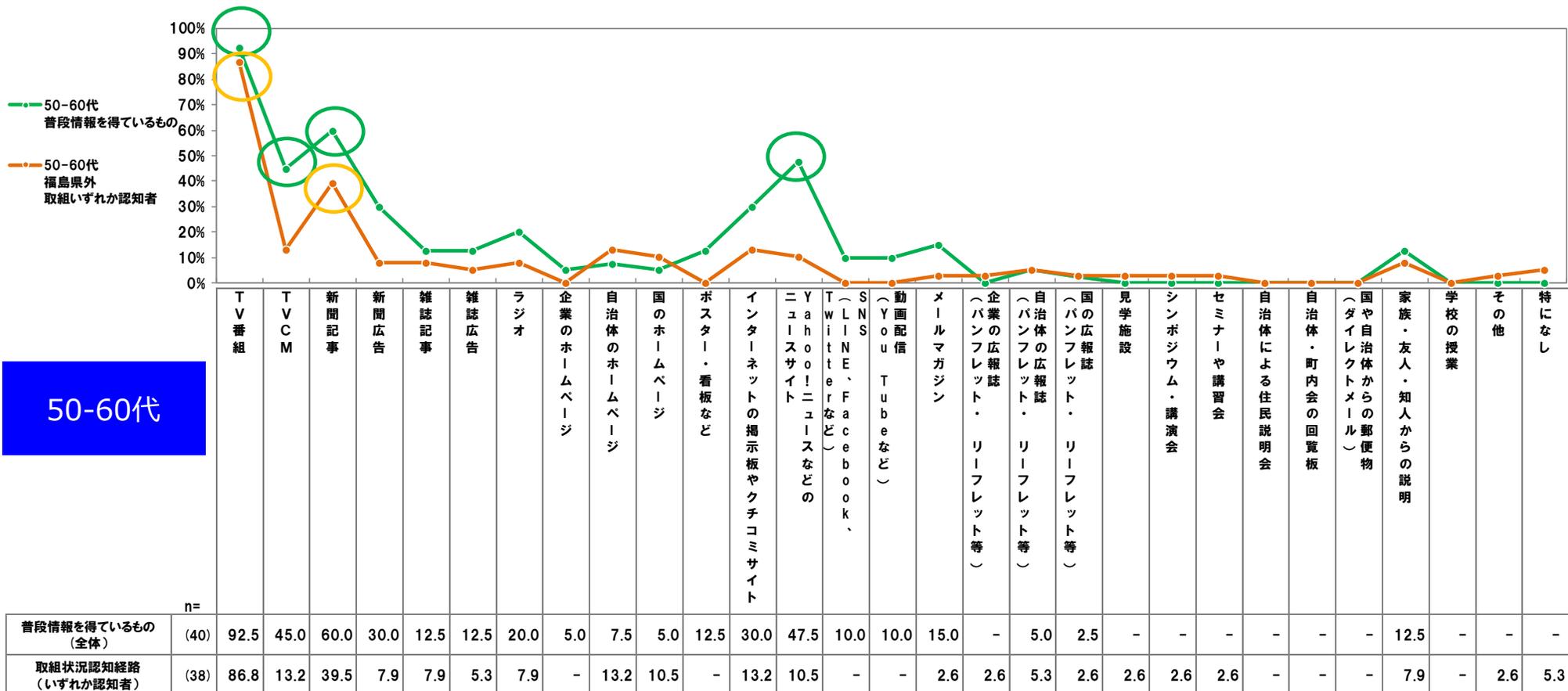
食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知経路（50-60代）

- 50-60代に関して、普段に情報については、テレビからの取得が比較的最も多く、次いで新聞記事、Yahoo!ニュースなどのニュースサイトが続く。
- 食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組の認知状況をみると、「テレビ番組」「新聞記事」からの認知が特に高い。

Q. あなたは、食品・食材の検査内容と福島県産の食品・食材の安全確保に向けた取組状況のうち、ご存じのことがありとのことですが、どこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

福島県外居住者

Q. あなたが接する情報源について、それぞれあてはまるものを全てお知らせください。



50-60代

- 食品・食材の安全確保に向けた取組状況の認知をみると、福島県居住者よりも福島県外居住者の方が認知は低くなっていることから、「福島県産」の食品・食材は、安全性が確認されているものであることが伝わっていないため、特に福島県外居住者に向けて食品・食材の安全確保に向けた取組状況の周知を高めることが重要であると考えられる。
- 福島県外居住者のなかには、福島県への訪問意向者も一定数みられるので、福島県の観光地や食の魅力をよりアピールしていくことで、福島県の来訪意向の向上にも繋がっていく可能性も窺える。
- 福島県の復興に対する意識は、福島県居住者及び福島県外居住者ともに高いことから、居住者や年代にあわせた情報発信を行うことが重要であると考えられる。